TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である 律法の違反者

ヤコブ 2:8-13

2022 年 10 月 29 日&30 日
余沢　武 牧師

I.　初めに

皆さん、こんにちは。2週間後の 11 月 12-13 日の週末に、TBC 終身名誉牧師のデニス・フォルズ氏と奥様のジュディさんがアメリカから来日され、教会にいらして、5回の礼拝でお話下さいます。どうぞ楽しみにしていらして下さい。その週の日曜日 11 時からの礼拝は混雑が予想されますので、時間帯をお選び下さい。

ヤコブの学びに戻ります。ヤコブは教会が分け隔てをして、教会にやってきた
裕福な人々に対して「高い評価」を与え、貧しい人々には無関心であったと言っていました。
今日、私たちも同様のことを行なっている可能性があります。

富、権力、高い社会的地位、仕事、教育、聖書の知識、才能、外見、身なり、有名人としての地位などを持つ人に対して特別扱いをすること

貧しく、力がなく、軽蔑され、賃金も低く、教育、聖書の知識、才能、外見、人気のない人に対して無関心でいること

ヤコブは、「貧しい人々」「心が貧しい人々」が神を呼び求めたことで、神が彼らを神の民としてお選びになったと言っています。今日はこの分け隔てがどんな問題を引き起こすかを見ていきます。

まずはお祈りします。

II.　律法の違反者

(1)　最も尊い律法を破ること

ヤコブの手紙 2:8-9
「もしあなたがたが、聖書に従って、「隣人を自分のように愛しなさい」という最も尊い律法を実行しているのなら、それは結構なことです。[9] しかし、人を分け隔てするなら、あなたがたは罪を犯すことになり、律法によって違反者と定められます。」

ヤコブは、分け隔てをするのは「最も尊い律法」である「隣人を自分のように愛しなさい」が守られていないからだ、と言っています。ヤコブのいう「最も尊い律法」とは何のことなのでしょう。

聖書の中で「律法」と言えば「旧約聖書の律法」を意味します
「尊い」とは「王に属する」「王国に属する」を意味します

イエス・キリストによれば「尊い律法」である「隣人を自分のように愛しなさい」は、他者との人間関係における、旧約聖書に記されたあらゆる律法の基本となる教えなのです。

これはイエスの教え、神の王国、神の人々、イエスが十字架上で行ったこと、全てを物語っています。

私たち人間は「隣人を自分のように愛しなさい」の掟を守ることができなかったため、罰として「死」があるのです

イエス・キリストが私たちの罪のために十字架の上で死んで下さったことは「隣人を自分のように愛しなさい」を証明しています

イエスが私たちの罪のために死んで下さり、3 日目に蘇ったと信じること、そしてイエスに自分の罪を赦して下さい、助けて下さいと願うことで、私たちの罪は赦され、「隣人を自分のように愛する」願望と力が聖霊の働きによって与えられるのです。それによって私たちは「神の王国」の人々となることが出来るのです。

教会を訪れる貧しく、力がなく、軽蔑され、失業中であったり、教育、聖書の知識、才能、外見、人気のない人に対して「愛の手」「思いやり」の気持ちを持って接しなければ、それは神に対して罪を犯していることになるのです。

(2)　全ての律法を破ること

ヤコブの手紙 2:10-11
「[10] 律法全体を守ったとしても、一つでも過ちを犯すなら、すべてにおいて有罪となるからです。[11]「姦淫するな」と言われた方は、「殺すな」とも言われました。そこで、たとえ姦淫はしなくても、人を殺せば、あなたは律法の違反者になるのです。」

貧しく、軽蔑され人気のない人に対して、愛情を持って接することをせず、無関心を装うことは大したことではない、と思うかもしれませんが、ヤコブによると現実には神のあらゆる律法を破っているのに等しいのです。その訳は、私たちが約束を守らないということは、単に約束を一つ破ったということではなく、全ての律法を下さった神に対して反いたことになるからなのです。

例えば、家の清掃をするように家の主に雇われたとします。家にある全てのゴミ箱を空にするように言われ、その通りにして道具を片付け終えた時に、子供の寝室があることに気づきます。もしかしたら、その中にもゴミ箱があるかもしれないと思い、覗いてみると、案の定、小さなゴミ箱があります。紙屑が入っているだけだったので、「大したことではない。気づかなかったふり、無視しておけばいい。」と思うかもしれません。心の中では子供部屋の小さなゴミ箱なんて大したことではない、思っているかもしれませんが、実際は家主の注文に背いてしまっているのです。家主は注文通りに仕事がなされなかったとみるでしょう。

私たちが助けを必要としているみすぼらしく困っている人を見て、「大したことではない。無関心を装っておけばいい。」と心の中で思い、無視したならばどうなるでしょう。それは、私たちに全ての律法を下さる神を無視したことになるのです。実際、神に対して罪を犯していることになるのです。神の目には、そのように映るのです。

ヤコブはこのように言っています。「たとえ姦淫はしなくても、人を殺せば、あなたは律法の違反者になるのです。」

ここで、なぜ、突然、姦淫と人殺しを比較するのでしょうか。なぜなら、貧しく軽蔑され人気のない人を無視することは、人殺しに匹敵する行為だからなのです。イエスはマタイによる福音書の中で次のように言っています。

マタイによる福音書 5:21-22
21「あなたがたも聞いているとおり、昔の人は、『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。22しかし、私は言っておく。きょうだいに腹を立てる者は誰でも裁きを受ける。きょうだいに『馬鹿』と言う者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、ゲヘナの火に投げ込まれる。」

神の視点では、怒ること、人を侮辱すること、人に対して「愚か者」ということは人殺しに匹敵する裁きをうけることだと教えます。貧しく、軽蔑され人気のない人を無視することは、私たちの心のなかで人を侮辱することと変わらないのだから、ヤコブは神の目には私たちは人殺しと同様に映るのだといいます。

私たちは、貧しく、軽蔑され人気のない人が教会を訪れた時、無関心を装ったりしていませんか。私は、今日の教会のカルチャーにおいて、無関心を装うことが蔓延しているように思います。クリスチャンは人に親切で愛情深いとよく言われています。それは、自分のよく知っている人たちに対してであり、見知らぬ人たちに対してでは必ずしもそうではないようです。

私は28年前にノンクリスチャンとしてTBCを訪れました。その時は、友人と一緒でした。次の日曜日は1人でTBCに来ました。礼拝が終わった後、私は1人で地下のフェローシップ・ホールへ降りて行きました。そこには大勢の人たちがいて、楽しそうに話をしたり笑ったりしていました。私は、暫くの間、1人そこで立っていました。すると、ある男性に話かけられました。彼も、また、1人で教会を訪れている人でした。

私たちは特に貧しかったわけでもありませんが、教会の誰にも相手にしてもらうことがなかったのです。この点に関して、私たちは心を砕かないといけないと思います。

ここで、以前、妻のミキと海外を訪問した時の話をします。日曜日にある教会を訪問した時、礼拝の最後に初めての訪問者は立って下さいと言われました。私たちは立ち上がり、そこで、ゲストは自分達だけであることに気づきました。礼拝が終わり、何人かの人の会釈を受けた後、5-6分の間、牧師と話をしました。牧師が立ち去った後、周りを見渡して、教会には自分達だけが残っていることに気づきました。教会を出る時に、妻のミキに「教会の扉を閉めるべきか、開けておこうか、どうしよう？」と言ったのを思い出します。

正直、みんながこんなにも早くにいなくなってしまったことに驚いていました。

外に出たら、駐車場にあった最後の車が立ち去ろうとしているところでした。私たちは帰る車がありませんでした。そこで、車の運転手の人はホテルまで送ってくれると言ってくれました。なんていい人なんだ！と感激し車に乗ると、彼女は、これから友人たちとランチを共にするから一緒にどうか？と誘ってくれました。そこで「喜んで！」と答えて私たちは参加させてもらうことにしました。

レストランに着いたら、教会にいた人の半分くらいがそこにいたのです。どうりで、教会に人がいなくなっていたわけです。そこにいた教会の人たちは、とても親切で、私たちは、そのフェローシップをとても楽し

むことができました。あの時、駐車場で彼女に車に乗せてもらうことがなかったならば、このような経験はなかったのです。レストランにいた教会の人たちはとても親切で愛情深い人たちでした。しかし、それは仲間に加わってみないと、外からは気づくことがなかったのです。私たちが生きている現代の教会のカルチャーは、このようなものだと言えると思います。

私たちは一人ひとりが愛情深くあっても、教会に新しく訪れる人たちに対して、ましてや貧しく、力がなく、軽蔑され、大切でないという扱いを受けたり、感情的、霊的、財政的な助けを必要としている人々に対して無関心を装うことがあるでしょう。このような時こそ、神に対して罪を犯す大きな危険にあるのです。

(3) 自由の律法による裁き

ヤコブの手紙 2:12-13
「12 自由の律法によっていずれは裁かれる者として、語り、また振る舞いなさい。13 憐れみをかけない者には、憐れみのない裁きが下されるからです。憐れみは裁きに打ち勝つのです。」

実際のところ、私たち人間は他者を自分のことのように愛することは不可能なのです。そこで、ヤコブは私たちに与えられているのは「自由の律法」であることを思い出させてくれます。もし私たちが本当にイエスに従っていこうと決心したのなら、私たちの内に働く聖霊が隣人を愛する思いと行う力をあなたに与えてくださるのです。

もしも自分が本当に罪を悔い改め、貧しく軽蔑され、大切に扱われていない、あらゆる助けを必要とする人々に対して、愛と憐れみの器としてみ心にかなった人として私を用いて下さいと祈れば、神はそうして下さいます。それゆえにヤコブは言います、そういう時こそ「言葉に出して」「行いで示しなさい」！

この世に生きている限り、私たちの憐れみや愛は完全なものとなることはないでしょう。しかし、私たちが示す憐れみや愛は、律法を完全に満たすイエス・キリストが私たちの中にいらっしゃることを証明するでしょう。ですから、私たちは裁きを恐れる必要がないのです。なぜなら「憐れみは裁きに打ち勝つ」からです。

TBC の皆さん、礼拝に集まる時、愛や憐みのこころを持ち、それを人に施したいと願う人であって下さい。ここを訪れた人が、私たちの内にあるイエス・キリストの愛を体験することができますように。

もし、まだイエス・キリストを救い主として受け入れておらず、憐れみや愛を施す力を受け取っていない方がおられるなら、 今日、是非ここであなたの罪を赦し助けてくださるイエスを受け入れることをお勧めします。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4422jp

★クラス 401
ミッションの発見
11 月 12 日（土）13：30～17：30
★クラス 101
メンバーシップクラス
11 月 27 日（日）13：00～17：00
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月 1 回～土曜日 16 時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後 19 時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月 1 回～土曜日 16 時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。英語力不要

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org